

農業者のみなさんへ 有害鳥獣の被害から農地を守るために

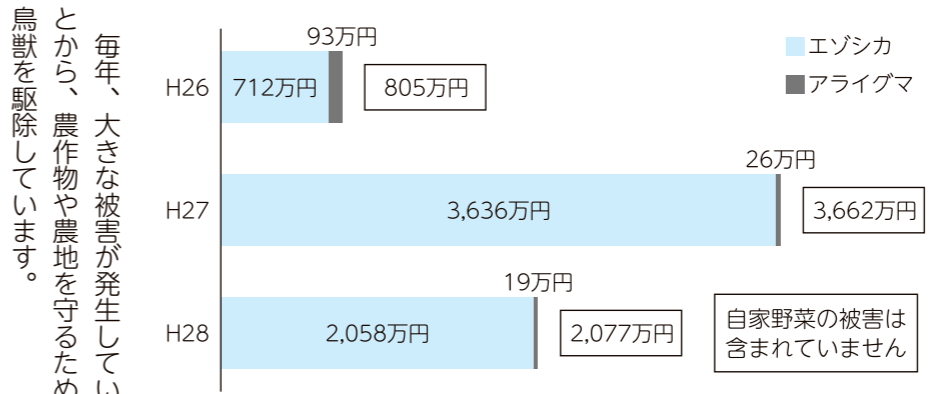
農地を荒らす恐ろしい存在…

新十津川町には、おいしいお米やスイートコーンなどの野菜を作っている農業者を困らせている存在がいます。それが「有害鳥獣」です。エゾシカやアライグマなどの有害鳥獣は、農作物を食い荒らしたり、あぜを壊すなど農業者にとって迷惑な存在です。

	アライグマ	エゾシカ
活動時期	一年中（冬季は半冬眠するためあまり活動しなくなります）	一年中（冬季は雪があるためあまりみかけなくなります）
捕獲される場所	野菜を作っている農地の周辺	山地、農地
主な被害農作物	スイートコーン、スイカ、メロン	水稻、そば、大豆、小麦

新十津川町における有害鳥獣の状況

特に農作物への被害は深刻で、収穫前の農作物や苗が食い荒らされる被害が報告されています。



有害鳥獣による農業被害額

毎年、大きな被害が発生していることから、農作物や農地を守るため有害鳥獣を駆除しています。

アライグマの駆除

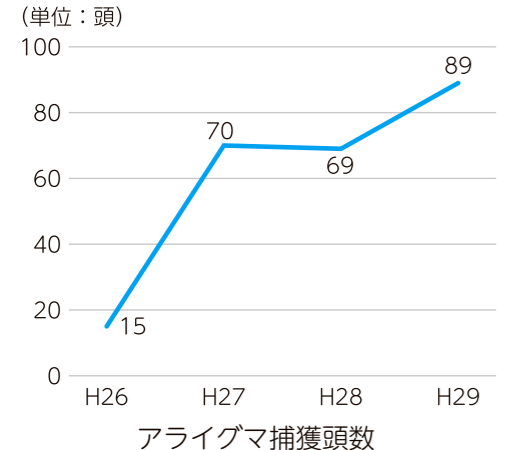
近年、新十津川町で問題となっているのが、アライグマによる農作物の被害です。頭数が急速に増えていくと推測されています。収穫前のスイートコーンやメロンを食い荒らす、納屋や牛舎に入り込み荒らすなどの被害が報告されています。

◆町内での駆除対策

- ・「箱わな」の貸し出し
- ・捕獲した個体を町が処分
- ・農業者による箱わなの購入 など

◆課題

- ・箱わなにかからない
- ・頭数が急激に増えた



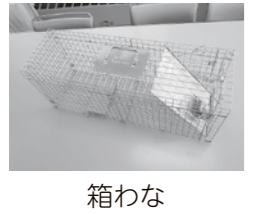
◆効果的に捕獲するために

- ・臭いの強いエサが効果的です。
例 甘いコーン系スナック菓子・油あげ・チーズなど
- ・手先が器用なので、手を伸ばして箱わなの外からエサだけを取ってしまうため、外から取られない工夫が必要です。

◆わなをしけるなら春頃！

農作物が成熟する7月頃からわなをしける方が多いですが、実は春頃にしかけると効率的に駆除できるという研究結果があります。(下図参照)
母アライグマを産する前もしくは産後直前に駆除することにより、個体数の増加を防ぐことができるためです。

時期は4月上旬からが良いとされています。
箱わなは役場産業振興課で貸し出しています。貸し出しを希望される方はお問い合わせください。(数に限り有り)詳しくは産業振興課にお問い合わせください。



箱わな

エゾシカの駆除

エゾシカは農地に出没し、農作物を食い荒らしたり、あぜを壊したりします。

◆町内での駆除対策

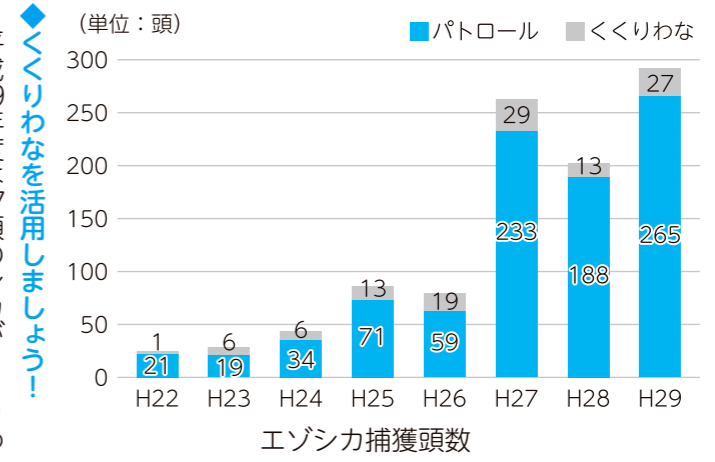
- ・猟友会による駆除、処分
- ・町から農業者への「くくりわな」の貸し出し
- ・銃所持許可と狩猟免許取得のための助成
- ・農業者による電気柵の設置や爆音機の設置

◆課題

- ・猟友会の会員数が減り、パトロールによる駆除だけでは限界がある
- ・くくりわなに上手くかからない



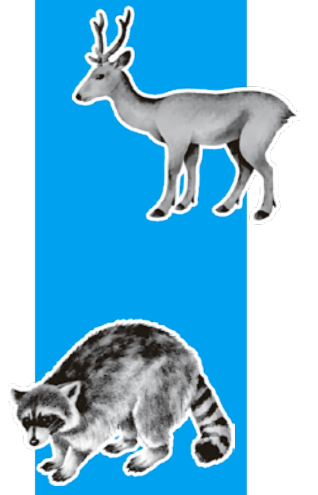
くくりわな



エゾシカ捕獲頭数

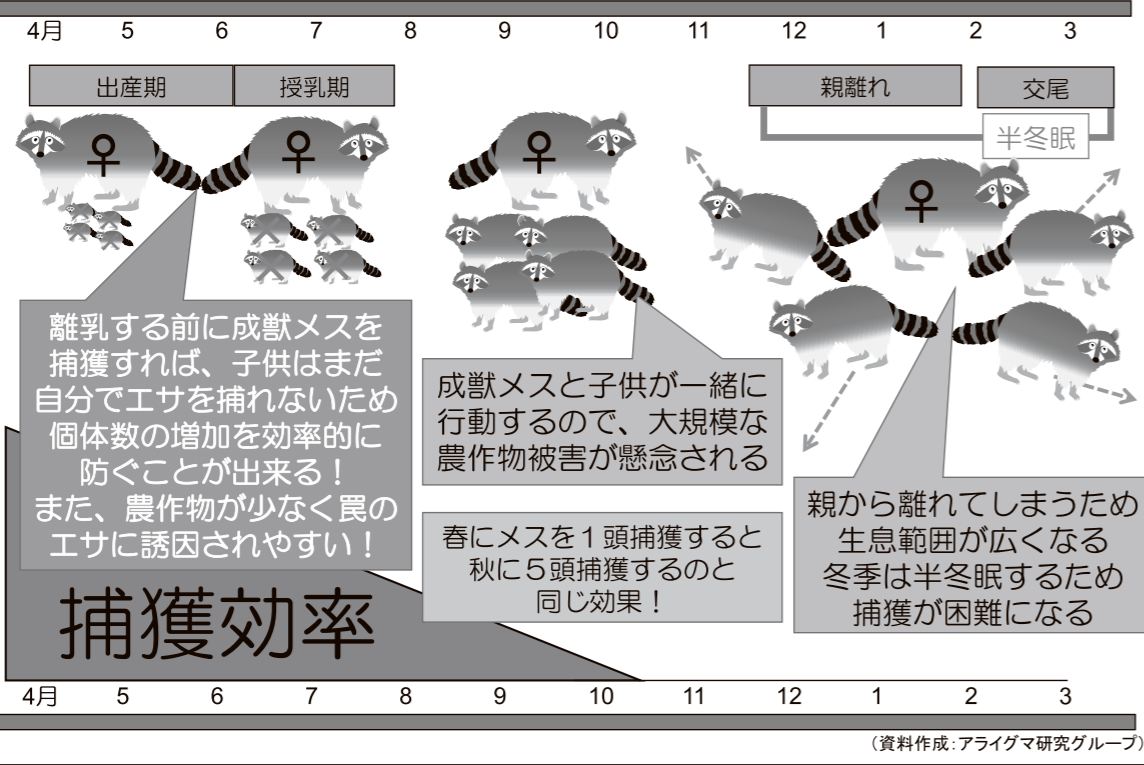
◆くくりわなを活用しましょう！

平成29年度は27頭のシカがくくりわなで捕獲されています。わなの設置には技術が必要です。実績のある方に指導を受けることで、捕獲できる確率が上昇します。
くくりわなは、狩猟免許を持っている方に役場産業振興課で貸し出しています。貸し出しを希望される方はお問い合わせください。



春期のアライグマの捕獲の有効性

アライグマのライフサイクル



■問合せ：産業振興課農林畜産グループ ☎76-2134